

平素より小田原きよしの政治活動をお支えいただき誠にありがとうございます。

多大なご支援を頂いているにもかかわらず、昨年来の政治資金に関する報道に小職の名前も不名誉な形で出ていることにつき、心よりお詫び申し上げます。また、報道直後に十分なご説明ができなかったことも大変申し訳なく存じます。

皆様の中には、報道をご覧になり、清和政策研究会のパーティー券売上合計千二百四十万円（過去五年間の合計）を小職が個人的に取得したと思われる方もいらっしゃるかと存じます。しかし、事実は違います。弊事務所は、皆様にご協力いただいたパーティー券の売上のノルマ超過分の全てを小職が代表を務める自由民主党東京都第二十一選挙区支部の支出に充てていました。「小田原君、そんなにノルマが厳しいのか。よし、わかった。私のところに持って来なさい。」と言って協力くださった皆様の心のもった二万円の積み重ねである千二百四十万円を小職の私的な目的で用いたことはございません。

今年に入り、清和政策研究会が収支報告書に記載していなかった各所属議員の政治団体に対する寄附金を計上する内容の訂正を行ったことに伴い、第二十一選挙区支部の収支報告書につきましても、清和政策研究会からの寄附金を収入として記載する訂正をしました。事務担当者の判断で清和政策研究会からの寄附金分（ノルマ超過分）を小職からの寄附金に含めて計上していた年につきましては、小職からの寄附金をその分だけ減額し、併せて同額を清和政策研究会からの寄附金として計上する訂正をしています。なお、支出につきましては、訂正すべき事項が見当たりませんでしたので、訂正しておりません。

皆様のご厚意によるパーティー券売上の使途につきましては、前述のとおり、支部の政治活動に充てており、後ろ暗い点は全くございません。

しかしながら、所屬していた派閥の運営も含め、政治資金規正法の基本理念を踏まえて法令遵守を徹底するという意識が低かったとのご指摘、ご叱責を受けるのはごもつともでございます。深く反省し、お詫び申し上げる次第です。

今後、このようなことがないよう、清潔さに磨きをかけて活動して参ります。

引き続きご指導賜りますよう改めましてお願い申し上げます。

令和六年九月吉日

小田原きよし